



2025年3月10日発行

社会福祉法人 龍鳳ライフパートナーこぶし
〒203-0004 東久留米市氷川台 2-31-19
TEL:042-470-2385 FAX:042-470-2386
清瀬事業所/ふわっとん
〒204-0013 清瀬市上清戸 1-15-18
TEL&FAX:042-497-9481
<https://www.fukushiryuhoh.or.jp/kobushi/>

お花クラブで制作した飾り花と一緒に♪上手にできました！



顔
研修研究部部長
丸山 耕太郎

この「顔」という文字は、人の捉え方によって色々な言葉に変化し、表現を変える事があります。
皆さんは「顔」という文字を見た時、どんな言葉を連想しますか。笑った顔・悲しい顔、怒った顔などが思い浮かぶでしょうか。または、顔色や面構え、顔面などが思い浮かぶでしょうか。それとも「顔」という文字にとらわれず、顔に関することわざで、「顔が広い」等の言葉を連想されたでしょうか。私がこの文章を書く際に、「顔」という文字から連想し、思い浮かんだ言葉は、「○○な顔」です。この「○○な顔」という言葉は、使い方によっては、印象を良くしたり、悪くしたりする言葉になります。例えば「お店の顔」と聞くと、好印象な表現になると思います。反対に「不愛想な顔」と聞くと、悪い印象を与える言葉になります。
私は色々な「○○な顔」の言葉をイメージした時に浮かんだ言葉は、「施設の顔」でした。
こぶしの「施設の顔」と聞いて、皆さんは何を連想しますか。施設長の顔ですか、それとも利用者さんや職員の顔でしょうか。私は、こぶしの売りである活動プログラムを連想しました。
こぶしでは、月曜日から金曜日まで、様々な活動プログラムを実施しています。学習プログラムや、館内でのサーキット活動・パバルーン、水曜日はスポーツセンターに出掛け、武道場を借りてサーキット活動を

しています。他にも調理活動や清掃活動を行っています。この活動プログラムを通して利用者さんの新たな発見や、成長を見る事が出来ます。
他者との関わりが苦手な利用者さんが、サーキット活動のボールプールに参加した時の事です。ボールプールに入るのも、難しい利用者さんでしたが、支援者が根気強く誘い続けた結果、その利用者さんは、ボールプールに入る事ができました。支援者がプール内で足をバタバタと動かし、ボールを蹴ると、その利用者さんも、支援者と共に足をバタバタと大きく動かし、ボールを蹴る事が出来ました。ボールプール内で体を大きく動かし、楽しそうに過ごす姿は、とても印象的でした。
現在その利用者さんは、当時とは変わり、支援者や他の利用者さんに対して積極的に関わる様子が見られます。ただ、この活動だけで他者との関りが図れた訳ではありません。支援者が他にもコミュニケーションプログラム等を考え、実施した事で利用者さんの成長に繋がったと私は思います。
この見出しの一面となる文章を書いて、改めて私の中で、活動プログラムは「施設の顔」だと思っています。この「施設の顔」となる取り組みを、外部の方に、こぶしを知って頂く機会になればと思います。最後に皆さんは、こぶしだよりの「顔」となる私の文章を、最後まで読んで頂けたでしょうか。

写真についてはご本人（代理人又は成年後見人）の同意を得て掲載しております。

「ふわっとん」 Cafe 清瀬事業所保護者懇親会を開催しました

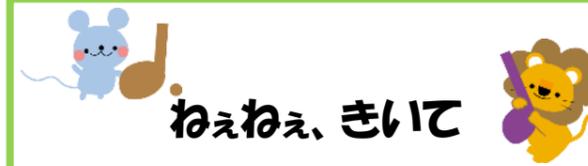
2/18(火)に、清瀬事業所で第一回保護者懇親会を開催致しました。保護者の皆様に作業内容を実際に見て頂き、スライドで最近の様子や出来事などを説明しながら、和やかに歓談しました。

利用者の皆さんも保護者の方々の見学が入ると、いつになく緊張の面持ちで頑張っていました。いいところを沢山お見せできたのではないかと思います。

保護者の皆様、お忙しい中足をお運び頂きましてありがとうございました。



お出ししたケーキセットです。作業の様子の写真もお渡ししました。



生活支援員 大鹿 真利会

目の前で泣いている利用者を見かけ、自分のハンカチで涙を拭おうとされる！さん！「ティッシュを持ってきませんか？」と声を掛けると、足早に綺麗なお手拭きを取りに行かれました。支援者が代わりに涙を拭いましたが、！さんの心から溢れる優しさで心配そうに見つめる姿に心が温くなりました！



カエルに色を塗っています！真剣なまなざしステキです！ (鈴木 麻椰)

歯磨き

私は去年の10月頃、人生初の虫歯による抜髄を行いました。小中高大学社会人と生きて虫歯とは無縁だと思い込み、一生虫歯にならないと根拠のない自信に満ち溢れていました。今人生で最も歯へ関心が高い時期です。

私は利用者さんの歯を毎日磨いていますが、全員の歯までは見たことがないと思います、実際に歯を確認すると虫歯、銀歯の人が大半で驚きました。なぜ利用者さんは虫歯になるのでしょうか、答えは単純で自分で磨かないからだだと思います。私たちは歯を失うことで生じるリスクを理解しているから歯磨きに時間をかけて行きケアをしますが、利用者さんにとっては食後のルーティンにしか考えていないと思います。これまでの自分の関心の低さを反省し、利用者さんに代わり今まで以上にしっかりケアをしよう決めました。

歯の寿命は一般的に50~60年と言われ、その中で奥歯が最も失うリスクがあり、利用者さんのほとんどが奥歯に何かしら処置をしています。歯は万病の元と言われるように、嚥下機能、認知機能など様々な影響を及ぼします。結論:歯は大事。

生活支援員 小畑 満月

フォトニュース ～2月の様子～

感じ方

♪日帰り旅行♪

☆活動・余暇風景☆



サンシャイン水族館へ!



お知らせ	
次の通りご寄付をいただきました。	
・法人関係者	100,000 円
・ご利用者ご家族	100,000 円
頂いたご寄付は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。	



典型的な三寒四温を繰り返しているように見えながらも、例年になくずいぶんと急ぎ足で春の訪れを感じるここ最近です。

その言葉の通り、目まぐるしく気温に変化のある毎日ですが、気温の感じ方というのは本当に様々で、例えば20度という気温でも、天候によって暑く感じたり肌寒く感じたり、人の主観もそれぞれでだいぶ異なってくるように思います。実際に体感していても、温度の数値を見た印象により、やっぱり暑いかも、寒いかもと判断が変わってしまうことも往々にしてあることです。寒暖を自身で判断し、衣類等で調整ができる人でも、1日の中での気温差や体感温度との差により判断を誤ることもしばしばあるのが、ちょうど今頃の季節ではないでしょうか。

気温もそうですが、最近、感じ方は本当に人それぞれだと痛切に思う出来事がありました。娘のピアノの練習に付き合っていたときです。彼女が新しい曲に取り組み始めたものの、なかなか右手と左手のタイミングが合わず、しばらくすると手が完全に止まってしまいました。その様子からイライラしているようにも、嫌がっているようにも見え、このまま練習をやめてしまうのかと思い、励まそうと、少し陽気な感じで声をかけました。すると「今日弾けるようになりたいくて、今、頭の中で覚えているところだから話しかけないでね」と娘から思いもよらない真剣な返事が返ってきました。

娘が嫌がることなくむしろ前向きだったという、私と全く異なる感じ方をしていたことに驚き、自分だったらきっとイライラして練習をやめたくなるだろうなと想像し、気持ちを楽にしてあげようと、娘の気持ちを押し量ることなく不用意に声をかけてしまったことを大いに反省しました。

たとえ親子だとしても、ものの感じ方は本当にそれぞれであり、だからこそそれを踏まえうえで尊重と配慮をもって相手の気持ちを押し量ることが必要であることを今回学ぶとともに、人との関係性において相手の気持ちを「理解したような」気になる、「〇〇だろう」と決めつけて接することのないように肝に銘じようと、心を新たにしました。

総務事務部部長 大神田 千恵



居心地の良い場所

私は入職当初からずっと口癖のように言っていることがあります。それは「ここ(こぶし)は居心地がいいな」です。

私は以前も知的・身体障害者の施設で働いていたのですが、退職して初めてこぶしに見学に来た際、すぐに思った事が「利用者さん達、皆楽しそう！」と第一印象を受けました。職員と一緒に活動を行っていたのですが、皆笑顔で行っており「ここで働きたい！」とすぐに決めました。

入職してからも利用者さん一人ひとりが日々笑顔で過ごしていました。職員一人一人が家族のように愛情を持って接しており、お互い笑顔になって居心地の良い場所となるのだなと感じました。私には高校生になる息子がいるのですが、毎日口喧嘩しています。息子にとって家が居心地の良い場所となるよう、これからは愛情を持って接していこうと思います。

3月いっぱい退職する事になって寂しいのですが、本当に居心地の良い場所でした。

看護師 大野 好子

こぶし医務通信 No.8

花粉症の症状は、3～4月がピークです。また、飛散は朝と夕に多いと言われています。症状に悩まされている皆さん、内服薬や点眼薬、点鼻薬の使用のほか、「セルフケア」も工夫していきましょう。



- ① 花粉の付着を防止しよう…「マスク」「メガネ」「帽子」「スカーフ」の着用がおすすめ。
→ウール系の素材は花粉が付きやすいので、綿や化学繊維の衣類がおすすめです。
- ② 室内に花粉を持ち込まない様にしよう…服の花粉を払い落とし、家の中へ。「洗顔」も効果的。
- ③ 鼻のケアを行おう…鼻の洗浄、鼻の粘膜の保護(白色ワセリンの塗布)も効果的。
- ④ 目を休め、負担を減らそう…長時間のスマホやテレビの視聴は、目の疲れの原因のひとつ。

看護師 新井 朋子